

震災&BCPを見据えた立地 BCP(事業継続計画)の重要性

東海・東南海・南海地震

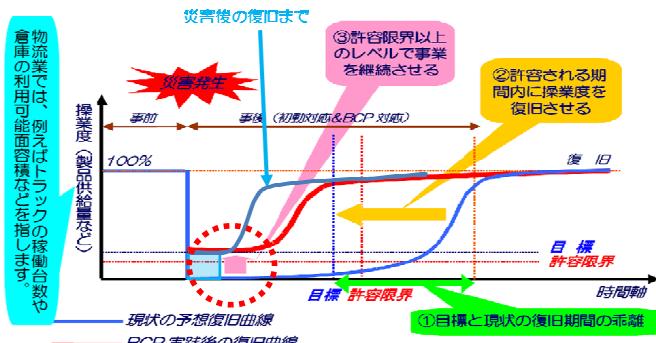
出典：大阪市港湾局2007

政府中央防災会議で発表されている東海・東南海・南海地震の津波の高さは阪神港周辺で3mから5mと想定されています。現在、大阪湾周辺の物流・配送施設の合計面積は**1,390,208㎡(420,527坪)**。災害時にこれらの物流施設が機能しない場合、日本経済に与える影響は計り知れません。

計画地は、95年の阪神淡路大震災時も殆ど影響を受けなかった頑丈な地盤を有する地域です。緊急時には、太陽光発電とコージェネレーションシステムを組み合わせた発電による安定した電力で対応します。

【大阪湾周辺地域の物流・配送拠点】

場所	竣工時期(年月)	敷地面積(㎡)	階数	延べ床面積(㎡)	取扱品
此花区	2003.11	75,000の一部	5	16,300	医薬品、飲料製品
住之江区	2004.1	45,982	7	158,297	マルチテナント
港区	2004.11	16,576	7	26,000	精密機器、OA 消耗品
西淀川区	2005.7	8,300	2	10,000	大手コンビニ
此花区	2005.10	75,000の一部	5	14,300	医薬品
港区	2005.11	23,645	2	25,360	事務用家具什器、健康器具等
住之江区	2006.4	29,974	4	57,171	家電製品等
此花区	2006.7	20,000	4	24,100	冷蔵・冷凍食品等
此花区	2006.8	25,834	6	93,078	事務用品等
此花区	2006.10	24,783	6	56,297	医薬品
住之江区	2006.11	61,253	4	140,525	マルチテナント
住之江区	2007.3	35,883	4	76,681	事務用品等
此花区	2007.5	33,092	8	168,905	マルチテナント
西淀川区	2007.6	33,096	5	48,226	未定(海上貨物)
住之江区	2007.7	19,255	5	42,451	通信販売商品等
住之江区	2007.8	13,035	5	39,912	未定(海上貨物)
此花区	2008.2	28,164	6	100,463	マルチテナント
此花区	2008.3	75,000の一部	4	23,000	医薬品関係
住之江区	2008.6	33,890	3	48,142	スポーツ用品
西淀川区	2009予定	33,221	4	66,000	未定(海上貨物)
此花区	2009予定	30,424	8	155,000	マルチテナント
合計				延床面積 1,390,208㎡	



出所) 事業継続ガイドライン解説書(内閣府)を一部加筆修正

まとめ

1. 高速道路と連結した次世代型物流施設の提案
2. 東西物流の中継基地として、ハブ&スポークの提案
3. 災害を見据えた後方支援施設の提案
4. 地元自治会との連動による地域活性化、雇用創設の提案

ご清聴有難うございました。